

評価委員会総合評価

研究課題名：桜島大正噴火級の降灰シミュレーション

評価委員

委員長：榊原茂記

委員：山中吾郎、藤田 匡、大野浩史、永戸久喜、中里真久、岡本幸三、
足立アホロ、仲江川敏之、山本剛靖、中村浩二、村田昭彦、井上 卓

評価年月日：令和8年2月27日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 可 否
(2) 修正の必要の有無 修正の必要あり 修正の必要なし

2. 総合所見

本研究は、桜島大正噴火級の降灰シミュレーションを通じて大規模噴火時の降灰特徴を評価し、防災対応に資することを目的とした重要な取り組みである。また、地方官署が持つ地域特性の知見を活かした分析、噴煙モデル改良、1年間の降灰シミュレーションの実施など、学術的・業務的にも高い価値が認められる。さらに、地方職員の技術力向上や降灰データベースの整備など、人材育成と地域防災への貢献も期待される。

一方で、気象場選択の幅が狭いこと、鹿児島地方気象台の参画が後半の工程に偏っていること、モデル検証の説明に不足が感じられること、桜島大正噴火時のデータ不足による検証の難しさがあることなど、考慮すべき課題も残っている。

実施にあたっては、多様なシナリオの気象場を用いた検証、地方気象台の早期からの参画や役割分担の明確化、近年の噴火データを活用したモデル検証強化を進めていただきたい。そのうえで、本研究の成果が桜島における防災的価値を高めるものになるとともに、降灰予測技術のさらなる高度化に貢献することを期待する。